

●●はぐくむ●●

富山大学オープンキャンパスでのアルミニウム製品展示 Exhibition of Aluminum products in University of Toyama Open campus 2022

土屋 大樹
Taiki TSUCHIYA

2022年8月6日(土)富山大学五福キャンパスにおいてオープンキャンパスが開催された。昨年度は新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、オンラインのみでの開催であったが、今年度は実地開催となった。当日は材料デザイン工学科にはオンライン参加も含めて100名を越える参加者が来場した。

本学は、地域と世界に向かって開かれた大学として、人文社会科学、自然科学、生命科学を総合した特色ある国際水準の教育および研究を行い、人間尊重の精神を基本に、高い使命感と創造力のある人材を育成し、地域と国際社会に貢献するとともに、化学、芸術文化、人間社会と自然環境との調和的発展に寄与することを理念としている。

筆者が所属する都市デザイン学部は持続可能な社会の構築を目指して、2018年4月に、富山大学9番目の学部として誕生した。住みやすい環境、活力ある社会を維持するためには、人々の生活の場である「都市」を新たにデザインすることが求められている。本学部の3学科には、それぞれ都市デザインの重要な役割があり、地球科学システム科学科は都市の土台となる自然の理解を、都市・交通デザイン学科は人々の移動を含めたまちづくりを、そして材料デザイン工学科は都市や交通を支える材料の開発を担っている。また、富山ならではの、①4000メートルの高低差が生むユニークな環境で自然との共生、災害対策を学ぶ、②富山市のコンパクトシティや環境施策をベースに最先端の都市政策や設計施工技術を学ぶ、③富山の基幹産業であるアルミ産業等と連携した実践的な技術と先端材料科学を学ぶという3つの特色を有している。

オープンキャンパスでは、学部・学科紹介、材料デザイン工学科の各研究室が得意とする研究内容の紹介および展示、研究室の公開や模擬授業を行った。また身近に使用される軽金属材料を高校生に知ってもらうべく、製品展示も行った。今回は軽金属学会、MAアルミニウム(株)、(株)神戸製鋼所、日本軽金属(株)より貸与いただいた、重量比較サンプル、押出製品サンプル、市販アルミフード、フードインナー、シリンダブロックなどの展示を実施した。重量比較サンプルでは、実際に持ち比べをしてもらい、材料ごとの違いを体感してもらった。鉄や銅に比べ、アルミニウムやマグネシウムが軽量であることに、高校生も驚き大変興味を持っていた。またアルミニウムの特徴を生かした、鋳造製品や押出、圧延などの

加工製品についても、現物を見せながら説明することができ、役立てることができた。タイミングよく軽金属学会のパンフレット改訂版が送付されてきたので、これも高校生に配布した。多くの高校生が軽金属材料に興味を持ち、現地にて現物を見る機会を提供でき、盛況に開催することができてよかった。オンライン参加者に対しても、材料に関する模擬授業を行い、金属材料への興味を深めてもらった。

最後に、軽金属製品の貸与を企画・実施していただいた軽金属学会ならびに各企業に心より御礼申し上げる。



図1 アルミニウム製品展示



図2 研究室公開